

看護方法論

解答

1、

(1)	○	(2)	○	(3)	○	(4)	×
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

(1),(2) 脈拍 成人 60~80回/分

2、

呼吸 成人 16~20回/分

(1)	×	(2)	○	(3)	○	(4)	○
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

(3) 運動や発熱によって体温が0.5℃上昇するごとに、脈拍は約10回/分増加すると考えられている。

3、患者の上半身を挙上することで、食べ物、食道・胃を通過しやすくなる。また、上半身を挙上することの出来ない患者の場合は、側臥位にすることで誤嚥を防ぐことができる。よって、食をするときは患者の上半身を挙上、または側臥位にする。

4、

(1)	○	(2)	×	(3)	×	(4)	×
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

5、男性；16~20cm 女性；4~6cm

その理由は、男性のほうが女性よりも尿道の長さが長いから。

6、

(1)	×	(2)	×	(3)	×	(4)	○
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

7、

(1)	○	(2)	×	(3)	○	(4)	○
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

8、

(1)	×	(2)	○	(3)	○	(4)	○
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

9、空気は氷枕の上の方にたまってしまい、患者の頭をのせた時に安楽性を失わせてしまう。また、熱の伝導性も悪く、氷を溶けにくくしてしまう性質があるため、氷枕を作る時は空気を抜くように心がける。

解説

○×問題の解答が×の問題のみ解説。

1、(4) 成人の脈拍数は、正常 80~60/分、徐脈 <60/分、頻脈 >80/分

2、(1) 全身清拭の湯の適温は 50~55℃ (清拭をしている間に湯の温度が低くなってしまうため)

4、(2) 健側から脱がせて、患側から着せるため、この場合は左から着せる。

(3) 袖口ではなく、脇から通す。

(4) 輸液ボトルは心臓より高い位置にセットする。

6、(1) 水平に引くのが最も力が小さい。

(2) 自分側に倒す。

(3) 開いた両足を結んだ線分を直径とする円内が基底面積をなす。基底面積を増やすことにより重心の移動が可能となる。

7、(2) 腰紐は不潔部分として扱う。

8、(1) 60~65℃以上の温度刺激が加わると、組織細胞のたんぱく質は熱凝固し、細胞は死滅する。